



No. **16**
FY 2023
FUSO

富

富桑まちづくりだより 第16号

「交流・共感・共生」





交流・共感・共生のまち ふそう

富桑地区のみなさまには、平素より地域活動にご理解ご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

さて、2023年は富桑村が鳥取市に合併して100年という記念すべき年になりました。

以前の富桑地区は市の近郊農村地帯でありましたが、近年、高齢化が進み、空き家も増えていく中、新しい家も建つなど地域が大きく変わってきました。そのため、新たな課題も出てきました。

これからの富桑地区の発展を図るため、2010年3月「交流・共感・共生」をテーマにして富桑まちづくり協議会を設立しました。

それ以来、それぞれの組織や団体が連携し、諸行事を通して「人権と福祉のまちづくり」「災害に強いまちづくり」になるよう取り組んでいます。

更に富桑地区を「**みんなが共に支えあい、心豊かに、安全で安心して住める富桑地区**」を目標にしています。

皆さまの積極的なご協力をお願いいたします。

2023(令和5)年度 活動状況

鳥取市では、市民と行政が適切な協力関係で支え合う「市民と行政による協働のまちづくり」の実現を目指し、市内61地区公民館単位で、各種の取り組みを進めています。

地域をよりよいものにしていくため、自分たちのまわりでどのような課題があるかを地域住民の視点で検討し、地域が一体となって課題解決に向けて取り組む組織です。

富桑まちづくり協議会は、1996年6月に制定された「富桑地区人権宣言」の趣意に基づき、「交流・共感・共生」の社会実現をめざし、地域の身近な課題解決に向けて全住民が結束することを基本方針としています。



富桑まちづくり協議会の目標・ロゴマーク

【目標】

「交流・共感・共生のまち ふそう」

- 1 健康でぬくもりのある優しいまち
- 2 歴史と文化を大切にするまち
- 3 人権を尊重し、弱い立場の人を大切にするまち
- 4 安全で安心のまち

【ロゴマーク】



富桑地区が老若男女みんなで手をつなぎ、住みやすい地域、仲の良い人間関係をつくろうという願いで「第1回富桑地区大文化祭」のときに、このロゴマークができました。

富桑まちづくり協議会組織図



各部の活動内容は次のページ

防災安全部

- 防災リーダー研修会
『防災機材の搬入と点検・確認』(6/18)
『台風7号小学校避難所の運営状況と
合同防災訓練打合せ』(10/27)
『合同防災訓練反省と今後の課題』(12/15)
- 富桑地区合同防災訓練(11/19)
避難所受け入れ訓練
防災講話
防災機材操作体験



▲ 防災リーダー研修会



体育健康部

- 第46回富桑地区大運動会(5/27)
- 第27回富桑地区グラウンドゴルフ大会(6/10)
- 富桑地区ペタンク大会(7/1)
- 富桑小学校相撲大会の支援(9/8)
金・銀・銅メダル授与
- 新春スポーツまつり(1/27)



▲ グラウンドゴルフ大会 ▲ 富桑小学校相撲大会



人権福祉部

- 富桑地区人権講演会(8/26)
演題 『部落差別からの解放を求めて』
講師 奥田 均さん(近畿大学名誉教授)
- 第19回富桑地区大文化祭(10/21)
演題 『「ひと」らしく生きるために～
人権教育のネガティブからポジティブへの転換～』
講師 江嶋 修作さん(解放社会学研究所 所長)
- 人権と福祉のまちづくり講演会(11/18)
演題 『人生100歳時代～老いを元気で楽しく～』
講師 國松 善次さん(元滋賀県知事、健康・生きがい開発財団副理事長)
- まちづくり講座(2/10)
演題 『放送こぼれ話』
講師 藤澤 武さん(元NHKアナウンサー)
- 年間
支え愛ネットワークの充実
「くわの郷」の活用推進



▲ 富桑地区大文化祭



▲ まちづくり講座

第46回富桑地区大運動会

2023年5月27日(土) 富桑小学校 校庭



4年ぶりの開催となった富桑地区大運動会。
快晴の下、子どもたちと地区住民が一体となって身体を動かしました。



富桑地区敬老祝賀会

2023年10月1日(日) 富桑小学校 体育館



第19回富桑地区大文化祭

2023年10月21日(土)・22日(土) 富桑地区体育館

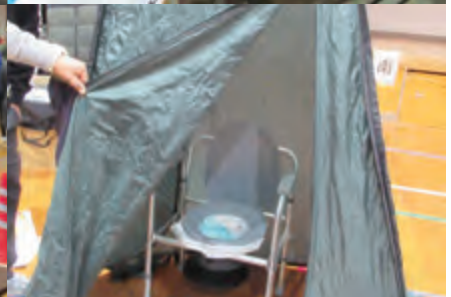


富桑地区合同防災訓練

2023年11月19日(日) 富桑小学校 体育館



大規模地震を想定した富桑地区合同防災訓練を実施。小学校敷地内に新設した防災倉庫から防災備蓄品を取り出し、実際に運用してみました。



町内会長紹介

2024年3月現在

行徳1区	石黒 聡
行徳2区	福田 睦史
行徳3区	白水 暢
千代町1区	石谷 京一
千代町2区	平井 伸治
千代町3区	平田 明
元品治	井谷 紀夫
元品治2区	水口 誠
寿団地	西川 照夫
新茶屋	山部 英之
西品治1区	中村登貴子
西品治2区	中村 真一
西品治3区	澤田 伸一
西品治4区	水口 稔
西品治5区	西川 秋夫
西品治6区	杉本 博美
西品治7区	甲木 由徳
田島2区	岸田 安雄
西品治団地	濱本 豊
平成町	竹中 和彦
西品治北団地	古田 三雄

自治会役員紹介

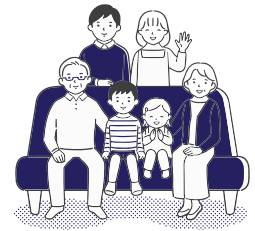
2024年3月現在

会長	西川 照夫 (寿団地)
副会長	水口 稔 (西品治4区)
	福田 睦史 (行徳2区)
	井谷 紀夫 (元品治)
監事	石黒 聡 (行徳1区)
	竹中 和彦 (平成町)
	澤田 伸一 (西品治3区)

地区担当者

自治会は、一定の区域に住む人々が自主的に構成する任意の団体です。

区域内に住んでいる人は、誰でも自治会員になることができます。性別、年齢などの条件はなく、日常生活の中での様々な地域課題を解決し、住民同士が協力・連携して自分たちの町を住みやすくしていくことを目的としています。



1. 安全・安心

犯罪のない、安全で安心なまちづくりのため、防犯灯の維持管理、パトロール等を行っています。

2. 情報の伝達

生活に欠かせない自治会(町内会)の情報や、市からの情報について、回覧や配布物などでお知らせしています。

3. 生活環境の維持・向上

きれいで快適な生活環境を維持するため、ゴミステーションの管理、道路や公園の清掃・草刈りなどを行っています。

4. 住人同士の親睦

お祭りや運動会、敬老会などを実施して、地域の住民相互のふれあいや、子どもから高齢者までの世代間交流を図っています。

5. 相互の助け合い

誰もが地域で安心して健やかに暮らせるように、地域のみんなで見守り、支えあう福祉活動や青少年健全育成活動を行っています。



▲ 2023年度新春懇話会



新しい会長として、富桑地区老人クラブ連合会の活性化に全力で取り組んでいきたいと思
います。ここ数年、8単老から5単老への激減や各単老の会員減少といった課題に真摯に向き
合い、リーダー不足、会員の高齢化、新規加入者の減少などに対処するために試行錯誤を重ね
ています。

「老人」というネガティブなイメージを払拭し、老人クラブへの参加を魅力的に感じてもらう
ために、新たな活動や運営の改善を進めます。

微力ながらも地域の皆様と連携し、新しいアイデアを取り入れ、魅力的な老人クラブを築くための努力を
惜しまない覚悟です。

富桑地区の皆様には今後とも一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

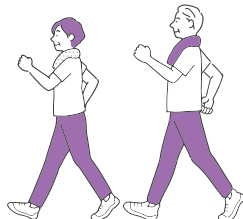
健康

健康づくり

- グラウンドゴルフ大会(10/4 白兔GG)
- 高齢者大運動会(10/12 産業体育館)
- モルック ● 介護予防 ● eスポーツ



▲ グラウンドゴルフ大会



奉仕

奉仕作業

- 街頭共同募金(10/3)
- 保・小・公民館周辺の除草
- 全市・国一斉社会奉仕活動 9/23~25 小学校
2024/3/21 公民館・保育園



▲ 全市・国一斉社会奉仕活動

友愛

ふれあい活動

- 友愛福祉タオル
(6施設147枚寄贈)
- 役員交流研修会
(11/17 山紫苑)



▲ 役員交流研修会

安心安全活動

- 子ども見守り隊 ● 安全パトロール
- 高齢者交通安全教室(10/24 公民館)



▲ 子ども見守り隊活動



▲ 高齢者交通安全教室

あなたも参加しませんか！

- 行徳1区「仲よし会」
- 行徳2区「豊友会」
- 行徳3区「親和会」
- 寿団地「ことぶきの会」
- 元品治「にこにこクラブ」

本年度会員数179名
(2023.4.13現在)

加入のメリット

- 1 健康づくり
- 2 友だちづくり
- 3 生きがいづくり
- 4 地域に貢献



これからの人生を
魅力ある楽しいものに

富桑地区老人クラブ連合会
ご加入をお待ちしております

☎27-4585(公民館)



風化を許さない！ 人権侵害事件

「交流・共感・共生」をスローガンとしている富桑地区で、起きてはならない、起こしてはならない悪質な人権侵害事件、発生から既に1年7か月になります。

被害者は、今も心に深い傷を抱えたまま日々が過ぎていく今を思うと慚愧に堪えません。忘れてはならないこの事件、私たちは差別・偏見に心を奪われることなく、立場を変え「自分が被害者だったら」を、常日頃から考えて行動できるようになりたいと思います。

今までの反省のもとに、富桑地区で人権問題が発生した場合、その対応について調査・研究と方向性を示す諮問的な役割を担う富桑地区人権委員会（委員長 小椋孝昭 氏）を昨年12月20日に発足させました。

国民的課題であります部落差別を始め如何なる差別も許さない強い決意のもとに、事業を推進したいと考えています。

何卒ご理解ご協力のほど切にお願い申し上げます。

2023年度 富桑地区同和教育推進協議会役員

会 長	高田 義昭
副 会 長	福田 睦史 井谷 紀夫
監 事	西川 照夫 河上 賀一
顧 問	高嶋 壯司
推 進 員	福田 睦史 大河原 敏雄 白水 幸子
事 務 局	平尾 りつ子 (敬称略・順不同)



PICK UP

「富桑地区人権委員会」発足に向けて

同推協では2023年12月富桑地区人権委員会を発足させ、委員長に小椋孝昭さんを選出しました。

差別行為が発生した場合、調査・研究と差別行為に対して厳正に対応してゆきます。

人権委員会委員長 小椋 孝昭

世界は、戦争や、洪水、大震災、ウイルスの感染拡大、まさに混迷の時代。個人の努力では解決できないことばかりです。

そこで思い出すのが、「絆(きずな)」という言葉、日本では災害の度にこの言葉が語られ、こぞって支援活動を始めます。日本中で被災者のために何かしたいという大きなエネルギー、人々の「ぬくもり」が被災者に生きる勇気を奮い立たせるのだと思います。

人権問題の基本は、この「人のぬくもり」への気付きだと思います。気付きから連帯意識が芽生え「絆」が深まっていくのではないのでしょうか。

この度、委員長をお受けしたのは、この富桑地区が、平時においても「人のぬくもり」の感じられる地域であって欲しいと願うからです。

まず始めたのが一昨年に発生した差別事象の解決に向けての提言です。人権を踏みにじられ、苦渋の思いをされている当事者に、いかに元気を取り戻していただけるか、委員の真摯な議論の末、町内会ごとに「人権宣言」を出そうという結論に至りました。被害を受けた方に、地域に住む住民の総意はあなたの味方ですよというエールを送り、元気を取り戻してもらいたい。そして、以前のように町内の「絆」が深まってほしいと願っています。

人権委員会は走り始めたばかりです。ご支援ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

2023年度 富桑地区同和教育推進協議会実施事業

● 人権講演会・役員研修会(8/26)

演題 部落差別からの解放を求めて
講師 奥田 均さん(近畿大学 名誉教授)

● 同和教育研修会・富桑地区座談会(12/2)

演題 イノベーション
～「部落差別があり続ける社会」を変えるために～
講師 中江 美紀さん
(鳥取県人権文化センター 専任研究員)

● 西中校区人教連研修会(10/21)

- ・演題 「ひと」らしく生きるために～人権教育のネガティブからポジティブへの転換～
講師 江嶋 修作さん(解放社会学研究所 所長)
- ・発表 平和学習(広島修学旅行より)
発表者 西中学校3年生

● 市街地ブロック総会・研修会(5/31)

演題 子ども時代の大切さ～大人がやるべきことは？～
講師 藤野 謙一さん(鳥取こども学園 園長)

● 市街地ブロック全体研修会(9/8)

演題 インターネットにおける人権問題
～加害者にも被害者にもならないために～
講師 前田 浩二さん(鳥取市人権教育推進員)

● 市街地ブロック役員・推進員研修会(2/21)

演題 「私」が「私」らしく生きるために
～男女共同参画を考える～
講師 福壽 みどりさん
(鳥取市人権情報センター主任研究員)



▲ 人権講演会・役員研修会

▲ 同和教育研修会

2023年度 小地域学習会 実施状況

実施日	町内会	内容
11/19(日)	新茶屋	差別事件について
12/3(日)	寿団地	DVD「同和問題」
1/2(火)	西品治5区	DVD「無自覚の差別」
1/3(水)	西品治4区	DVD「無自覚の差別」
1/6(土)	元品治	DVD「同和問題」
1/7(日)	田島2区	講演「LGBTQの理解」
	西品治2区	DVD「差別の無い社会へ」
1/21(日)	千代町1・2・3区	差別事件・DVD「同和問題」
1/28(日)	行徳1区	DVD「家庭から振り返る人権」
2/4(日)	西品治北団地	DVD「差別の無い社会へ」
2/17(土)	行徳3区	講演「多様性と共生社会」
2/19(月)	行徳2区	差別事件について
3/3(日)	元品治2区	DVD「家庭から振り返る人権」
3/10(日)	西品治7区	DVD「差別の無い社会へ」
3/31(日)	平成町	県人権尊重社会づくり条例



▲ 寿団地



▲ 千代町1・2・3区

富桑地区人権宣言

21世紀のキーワードは国際化、情報化にともない「平和」「人権」「福祉」「環境」といわれ、とりわけ人権尊重は平和の基礎であり世界の人々の幸せと繁栄に欠くべからざるものとして共通の認識となりつつあります。

私達の鳥取市富桑地区も古くから農業を中心として発展をし、歴史、文化を大切にしながら、心優しく人情あふれる地域として栄えてきました。しかしながら、「同和問題の解決は国の責務であり、国民的課題である」とした同和对策審議会答申から30年が経過した今日、部落差別をはじめあらゆる差別が厳存しています。この様な状況に鑑み(かんがみ)、今まさに、富桑地区挙げて人権意識、人権感覚をさらに高め、部落差別をはじめ一切の差別撤廃に向けて、人権尊重の情報発信基地として求められています。

私達の富桑地区の目指す21世紀の街づくりは、すべての人間が人として尊重されすべての人間が人間らしく生きる街づくりです。

今、ここに富桑地区人権宣言を発し、交流・共生・共生をもってお互いの努力により被差別、加差別の立場をのりこえ、反差別社会の実現に向けて邁進(まいしん)する事を宣言します。

1996年6月8日

富桑地区同和教育推進協議会



富桑地区の皆様には常日頃より社会福祉活動にご協力をいただきありがとうございます。

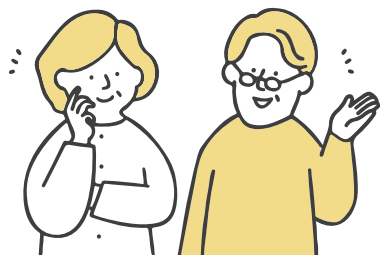
特に本年度は4年に一度の富桑地区合同敬老会の開催にあたり、まちづくりをはじめ自治会の皆様

にはお世話になりありがとうございました。

事業内容

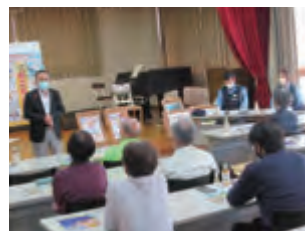
- 1 ふれあいデイサービス事業
- 2 ふれあい型食事サービス事業
- 3 おとしよりの地域ぐるみ世代間交流事業
- 4 福祉関係研修会の開催
 - となり組福祉員設置活動研修
 - 95人のとなり組福祉員に委嘱状を渡し研修
- 5 敬老事業
- 6 地域ふれあい・いきいきサロン事業
- 7 福祉コーディネーター事業
- 8 各種福祉活動への支援
地区各種団体(老人会、青少年育成協議会、健康づくり推進協議会)や文化祭、敬老会、公民館活動等への支援
- 9 障がい者団体への支援と交流
- 10 広報誌発行
- 11 共同募金活動への協力

- ①福祉の向上
- ②地域の絆を深めて孤立をなくす
- ③社会的弱者への支援対策
- ④サロンの充実



ふれあいデイサービス事業

高齢者が楽しいひとときを過ごす集いの場
毎月第2火曜日9:30～ 富桑地区公民館



▲ 5月 交通安全と特殊詐欺の話



▲ 6月 口腔ケア



▲ 9月 防ごう認知症



▲ 10月 手作り作品を作りましょう



▲ 11月 ちょっと出かけましょう～ミニSL博物館～



▲ 2024年2月 体力測定と健康体操

ふれあい型食事サービス事業

新型コロナウイルス感染症防止のため中止していましたが今年度は復活。
地域の方々の協力を得て、高齢者の方に配布することかできました。



金婚(結婚50周年)・ダイヤモンド婚(結婚60周年) おめでとうございます!

金婚4組



益々のご健康とご多幸をお祈りいたします。

敬老会事業

各町内会が行う敬老会の助成

対象者512人(75歳以上)

本年度は地区敬老会開催に伴い、併行して助成しています。



ひとり暮らし歳末たすけあい事業

ひとり暮らし高齢者支援への歳末たすけあいとして「菓子」を民生委員さんの協力で配布。

対象者159人

ふれあい・いきいきサロン事業

今年度27サロンが様々な工夫をしながら運営し、『地域の高齢者の方々を中心とする集いの場』になっています。

共同募金

391,050円

たくさんの方にご協力いただきありがとうございました。

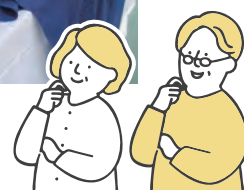
おとしよりの地域ぐるみ世代間交流事業

青少年育成協議会と共催で「川魚のつかみどり」を実施しました。



富桑地区大文化祭への参加

例年ふれあいデイサービスで作品づくりをして出展しています。





今年度の市民体育祭では、全種目(全15種目2入替)中、8競技の参加となり、総合成績Bグループ9位となりました。選手の高齢化が進む中、若い世代の参加が難しくなっているのは、仕事だけでなく、小中校やクラブチームの父母の引率「試合、練習の付き添い・見学」「練習の指導」市P連保護者スポーツ活動の廃止などが一因と考えられます。

※(公立中学校の部活動の地域移行が進む中、新しい局面が迫っています「2023~25年度の3年間に進める」部活動が学校の外に出ていく構図となり、地域全体でスポーツに親しむ機会が変わってくる。)

今後の校区では、運動・スポーツを通じた健康の維持・向上や生きがいの追求を重視し、ふれあいと活力ある生涯スポーツに注力していきたいと思えます。これからもどうぞご支援、ご協力をお願いします。

第66回鳥取市民体育祭
Bグループ富桑校区種目別成績

- バasketボール 2位
- 陸上 3位
- ゲートボール 4位
- ペタンク 4位
- バトミントン 5位
- ソフトテニス 5位
- 弓道 7位
- グラウンドゴルフ 12位



2023年度 活動内容

- 第27回富桑地区グラウンドゴルフ大会(6/10)
23チーム 66人参加
優勝 まちづくりB
- 富桑地区室内ペタンク大会(7/1)
14チーム 42人参加
優勝 一般の部 元品治
ファミリーの部 チーム寺本
- 富桑スポーツまつり(1/27)
「第3回富桑地区モルック大会」
13チーム 48人参加
優勝 シニアの部 しゃんしゃんA
ヤングの部 体育会A
- ニュースポーツ体験(第3金曜日13:30~)
共催 富桑地区公民館
- eスポーツ体験(第3月曜日13:30~)
共催 富桑地区公民館



▲ グラウンドゴルフ大会



▲ 富桑スポーツまつり

第36回全国健康福祉祭とっとり大会

ねんりんピック
はばたけ鳥取2024

咲かせよう 砂丘に長寿と笑みの花

令和6年10月19日(土)~22日(火)



本年度は大文化祭の交流テント村で健康ひろばを開催しました。血管年齢と体脂肪の測定や、保健師さんによる相談会では、たくさんの皆様にご参加いただきありがとうございました。

近頃「健康寿命」という言葉を耳にしますが、自分らしくいきいきと過ごす為に、食事や運動に加え、年に一度の健康診断の受診もぜひお勧めいたします。

来年度も、早朝歩こう会等の活動を予定していますので、ご参加よろしくお願いたします。

会長 井谷 明美
副会長 西上 昌男 村上 幸平

推進員19名

2023年度 活動内容

- 早朝歩こう会(7.8月)
- 遠出ウォーク(8/27)
- ココカラ体操



◀▲ 遠出ウォーク



『しゃんしゃん体操』は、介護予防と地域のふれあい交流を目的として鳥取市でつくられた体操です。

新聞紙を丸めた手作りの棒を使い、鳥取市の「しゃんしゃん傘踊り」の音楽に合わせて行う1曲5分程度の体操をします。

いつまでも「しゃん」と背を伸ばし、健康で元気に暮らすために『しゃんしゃん体操』をしてみませんか。



2023年度 活動内容

- しゃんしゃん体操活動(通年)
- 富桑地区大文化祭 10/22
- 野外活動(5/22)
- 健康ウォーク(11/10)
- クリスマス会(12/22)



講習会 第2、4金 13:00~14:00 富桑地区公民館

活動目標

民生委員は民生委員法により設置が定められ、職務の重要性に鑑み、厚生労働大臣から委嘱され、その身分は、非常勤の特別職の鳥取市公務員とされています。民生委員は児童委員を兼ねることとされています(児童福祉法第16条)。また、子どもや子育て家庭への支援を専門に担当する主任児童委員は、児童委員の中から厚生労働大臣により指名されます(児童福祉法第16条)。その任期は一斉改選から3年で、民生委員・児童委員はボランティアとして活動しています。

民生委員・児童委員は、自らも地域住民の一人として、住民の生活上の様々な相談に応じ、行政をはじめ適切な支援やサービスへの「**つなぎ役**」としての役割を果たすとともに、解決に向けて、高齢者や障がい者の見守り役や安否確認などにも尽力に努めています。

2023(令和5)年度 活動状況

- 定例会(原則 毎月第2水曜日)
- 各種研修会への参加
 - *ふそう支え愛ネットワーク研修 *西・中ノ郷ブロック研修 *つながりサポーター研修 *民生児童委員継続陽性研修 *全国民生委員児童委員大会(広島) *鳥取市民生児童委員全体研修 *単位民児協役員セミナー・会長研修 *鳥取市人権尊重社会の実現集会 *その他
- 調査
 - *敬老対象者調査 *ひとり暮らし高齢者熱中症アンケート調査 *必要に応じた調査
- 各種申請書作成(生活保護、生活福祉貸付資金など)
- 支援会議(鳥取市主催ケース会議など)
- 街頭共同募金
- 少年愛護センター補導巡回
- 地区・小学校運動会参加
- 富桑地区文化祭参加支援
- 「民生委員・児童委員の日」活動強化
- 一人暮らし高齢者支援(地区社協より依頼)
- 鳥取市福祉大会参加
- 子ども・ちいき食堂支援
- ぴよぴよサークル支援

地区担当者

行徳1区 西上 昌男	新茶屋・元2 藤田 恵子
行徳2区 福田 博	西品治1~7区 田島2区・県住・ 北団地・平成町 西川 秋夫
行徳3区 今村 卓志	
千代町 川上 るみ子	
寿団地 上住 研治	主任児童委員 河上 博子 水口 正子
元品治 井谷 紀夫	

基本姿勢

- 1、社会奉仕の精神
- 2、基本的人権の尊重
- 3、政党・政治的目的への地位利用の禁止

基本的性格

- 1、自主性
常に住民の立場に立ち、地域ボランティアとして自発的・主体的な行動を行います。
- 2、奉仕性
誠意を持ち、地域住民と連帯感を持って、謙虚に、無報酬で活動を行うとともに、関係行政機関の業務に協力します。
- 3、地域性
一定の地域社会(担当区域)を基盤として適切な活動を行います。

活動の原則

- 1、住民性の原則
自らも地域住民の一人である民生委員・児童委員は、住民に最も身近なところで住民の立場に立った活動を行います。
- 2、継続性の原則
福祉問題の解決は時間をかけて行うことが必要です。
- 3、包括・総合性の原則
個々の福祉問題の解決を図ったり、地域社会全体の課題に対応していくために、その問題について包括的、総合的な視点に立った活動を行います。

はたらき

- | | |
|--------|------------|
| 1、社会調査 | 実態、福祉需要の把握 |
| 2、相談 | 相手の立場で相談に |
| 3、情報提供 | 内容を的確に |
| 4、連絡通報 | 必要な対応のつなぎ役 |
| 5、調整 | サービスの支援 |
| 6、生活支援 | 支援体制 |
| 7、意見具申 | 関係機関へ具申 |





〈 2023年度テーマ 〉

お互いの人権を尊重し、孤独・孤立のない安心して住み易く、繋がりを大切にしたい地域づくりを築く。

鳥取市西人権福祉センターは社会福祉法第二条に基づく社会福祉施設として、地域住民の生活課題に応じて実態調査や、研究事業をはじめ、各種相談事業、啓発及び広報活動、地域福祉事業、地域交流事業等を推進する開かれたコミュニティセンターとして事業に取り組んでいます。

相談事業

地域に根差した身近な相談窓口として、複雑・多様化する相談内容に、地域・関係機関・行政等と連携して、相談者に寄り添った相談対応を行っています。

人権啓発事業

部落差別を始め、あらゆる人権差別解消に向けた取組を行っています。

根強く現存する部落差別をはじめ、あらゆる差別解消に向け、正しい知識を習得してお互いの人権を尊重し「差別のない住みやすい地域」づくりに取り組んでいます。

人権講演会 富桑地区文化祭でまちづくりと共催

演題 「ひと」らしく生きるために
～人権教育のネガティブからポジティブへの転換～
講師 江嶋 修作さん (解放社会学研究所 所長)

人権と福祉のまちづくり講演

演題 「大山口列車空襲」
講師 大山口列車空襲被災者の会

世界各国で勃発している戦争を考える機会として、富桑小学校出前事業として開催。

5・6年生を対象に鳥取県であった「大山口列車空襲」被災者の会の方々にご講演頂き、戦争に対して考える良い機会であった。



▲ 人権講演会



▲ 人権と福祉のまちづくり

地域福祉事業

サテライト事業 各地区公民館(富・明・醇)へ出張事業

介護予防 健康づくり教室

健康を維持して長寿し、幸せな日々を過ごす為の自立支援のための体力づくり、また地域の方々が集えるコミュニティの場としての介護予防教室です。

孤立防止ママ運動教室

リトミックを通して親子のふれあい、コミュニティづくり、親子・家族参加で和気あいあいとした雰囲気の中で、子育て支援に取り組んでいます。



▲ ママ運動教室

コミュニティ事業

子ども食堂 月2回 センター/児童館

真心を込めた調理弁当を手渡ししながら話し、健康・生活状況の把握に努めています。

ささえあい食堂(地域食堂) 月1回 センター/公民館

西人権福祉センターで、ボランティアの方々との協力を得た調理弁当を、西人権福祉センター・富桑地区公民館の2会場で手渡し配布。来れない方へ個別訪問して手渡しして、高齢者の実態把握により、孤独・孤立防止対応に繋げる事業として取り組んでいます。

いきいきサロン・健康体操 4会場で老人会対象

富桑地区内の4地区の老人会の協力を得て、健康体操の実施しその後は茶菓子で会話を和やかに楽しみ、いきいきとした時間を過ごされ活力源となるように取り組んでいます。



富桑地区の児童館として

西品治児童館は子どもたちの遊び場であり、様々な体験を通して友だちや異年齢の仲間をつくる大切な場所です。2022年度の来館者は約8,500人で、そのうち8割が幼児から小学生となっています。

2020年4月の「第23回さわやか大運動会」後、コロナ禍で児童館活動が思うように進まなかった状況もありましたが、今年度は久しぶりに「第24回さわやか運動会」を開催し、多くの子どもたちや保護者、地域の方で賑わいました。

今後も富桑地区の児童館として、公民館や西人權福祉センターと協力しながら、子どもたちの声がたくさん響く活動を展開し、子どもだけでも親子でも安心して遊べる憩いの場として、より一層がんばっていきたいと思っています。

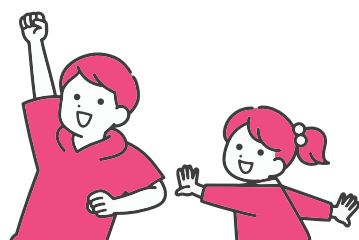
児童館とは…

児童館は、児童福祉法の規定に基づく**児童福祉施設(屋内型の児童厚生施設)**です。

子どもの遊びを通して、生活の援助や地域における子育て支援を行い、子どもたちを心身ともに健やかに育成することを目的としています。

数ある児童福祉施設の中で唯一**子どもの意思で自由に利用**することができる施設です。

児童館では、**0～18歳未満の子どもたち**を対象とし、遊びの専門性をもった「**児童の遊びを指導するもの(児童厚生員)**」が常駐し、**子どもたちに遊びの提供と安心できる居場所づくり、個別的、集団的に様々な健全育成活動**を行っています。



鳥取市の児童館について

鳥取市には12の児童館があり、「**一般社団法人とともに**」が、**地域の特色を活かした様々な児童館運営**を行っています。

麻生児童館	円通寺児童館
国安児童館	気高児童館
湖南児童館	倭文児童館
下味野児童館	下佐貫児童館
西円通寺児童館	西品治児童館
馬場児童館	古海児童館



西品治児童館の沿革



▲ 旧・西品治児童館(1977～2008年)



▲ 現・西品治児童館(2008年～)

1977年、同和対策事業の一環として設立。職員2名(館長含む)配置。

1983年、職員3名(館長含む)配置。

1998年、指定管理者制度により「鳥取市」から「鳥取福祉会」へ委任。

2005年、老朽化に伴い、建替えを求める署名活動を富桑地区全域で行う。

2008年、新(現)児童館建設。

2011年、職員4名(館長含む)配置。

2016年、指定管理者制度により「一般社団法人とともに」へ委任。

2023年度活動写真

今年もいろんなことしましたが、ほんの一部を紹介！



主催：さわやか運動会実行委員会

▲ 第24回さわやか大運動会



講師：徳田節子先生

▲ チャレンジ さらまわし！

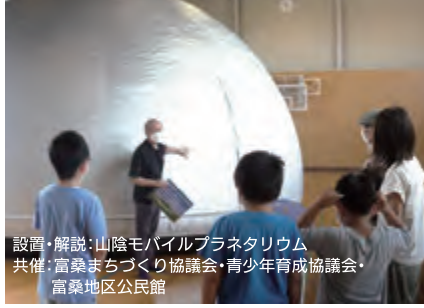


▲ ちまぎづくり



語り部：とっとり・民話を語る会

▲ とっとり民話語り 第一席



設置・解説：山陰モバイルプラネタリウム
共催：富桑まちづくり協議会・青少年育成協議会・富桑地区公民館

▲ 富桑天文台



協力店舗：徳吉薬局 松並支店

▲ お薬屋さんに行ってみる。こども薬剤師体験



▲ じどうかんで Let's HALLOWEEN！



協力：NEXT MOTION 共催：富桑地区公民館

▲ キッズドローン トライアル



講師：鳥取県警察

▲ あんしんあんぜん教室「交通安全の巻」



出演：オカリーナふくふく

▲ メリクリライブ2023



出演：大道芸人すごろく

▲ 大道芸人すごろくダイスタッキングミニショー

INFORMATION

- 対象 児童(0～18歳)及びその保護者 **無料で利用できます！** ※有料イベントあり
- 初めて利用の方は来館時に「利用者登録用紙」にご記入ください。
※「利用者登録用紙」は保険加入のために必要となります。
また児童館での事故やケガ、災害時など保護者と連絡をとるために使用します。
- 金銭トラブルや持ち物のトラブルが起こらないよう、大切なものなどは持たせないようにお願いします。
- 館内は飲食は原則禁止です。(熱中症対策の水などはOKです)
- 乳幼児の利用については、保護者同伴をお願いします。
※同伴者が児童(兄弟姉妹)の場合は利用をお断りしています。



にしほんじじどうかん
NISHIHONJI JIDOKAN

開館 火～土曜日 9:30～18:00
※小学校が月曜振替休日の場合、月曜開館

休館 日曜日・月曜日・祝日・年末年始

TEL 26-9030



けっこうマメに更新しています。



子どもたちを育む地域へ

何か活動をするためには、人・物(金)・時が必要です。

まず、人の問題は保育園・小学校との連携で、次に物(金)は各種団体との共催による補助で、そして、時はその時期にあった活動内容を。

主は子どもたちです。

無理のない活動をどう作っていくか皆で考えましょう。

まず、子どもたちと顔見知りになる努力を大人がしましょう。“まず、挨拶から”



2023年度活動内容

- 登下校時のあいさつ運動の推進(年間)
- 夏休み夕刻パトロール(広報車で地区内を巡回)
- さわやか大運動会(4/16)
- 富桑天文台(6/24)
- やまめのつかみ取り(7/29)
- 保育園児と千羽鶴づくり(8/9)



▲ やまめのつかみ取り



▲ 保育園児と千羽鶴づくり

交通安全 1年を通じたの活動として

児童の通学路の交通安全、見守りとして毎日学校まで送っています。

新学期は、4、5、6年生の自転車教室、1年生の横断歩道の渡り方指導等を先生と一緒にしています。

年4回の交通安全運動(春夏秋年末)には、各町内にのぼり旗の設置。朝夕広報車でパトロール。えがお橋でチラシ等を運転者に配り、交通事故の防止を呼び掛けています。

大文化祭、グラウンドゴルフ大会、敬老祝賀会などの地区行事の交通整理には、各町内の分会長さんに協力をいただいています。

これからも交通事故がないように頑張っていこうと思います。

校区の皆様、どうぞよろしくお願いたします。

2023年度活動内容

- 交通安全運動(春夏秋年末)
- 街頭指導(通行する車への呼びかけ)
- 毎朝の登校時交通安全指導
- 小学校あいさつ運動と見守り隊
- 小学校交通安全教室、自転車教室
- 生活安全教室



▲ 交通安全教室



これからの公民館の在り方

今年度コロナ規制が緩和され、「通常通り事業を行っても良い」と市からお達しが出ましたが、はて？まだ感染の不安を抱えながら事業を実施していいだろうか、どれだけの方が参加してくれるだろうか、と手探りの中「とっとりの学びどころ」をはじめ「eスポーツ体験」など、各種の事業もできました。なんとか日常が戻りました。

そして「富桑地区大文化祭」も2日間の開催で徐々にびっくりするほど大勢の方にお越しいただき、テント村も短時間で売り切れてしまいました。楽しく色々な方々が触れ合える機会として待ち望まれていたんだと実感しました。

また、来年度は鳥取市に公民館が設置されて、50周年となる節目を迎えます。さらに市条例の改正により公民館運営の環境は大きく変貌しようとしています。

鳥取市独自の公民館の役割として地区の活性化・住民主体の拠点となることますます期待されます。

これからも地区住民の皆様が気軽に来館できるよう笑顔でお迎えします。「まあ上がってコーヒーでもどうぞ」

PICK UP

レコード鑑賞会

レコード“Record”とは、Re→英語で「繰り返す」、cord→ラテン語で「心」、これを組み合わせると、「心に帰る」「心の記憶を呼び覚ます」になります。

2018年から始めた『レコード鑑賞会』、年1回開催が参加者の“声”により2回になり、11/29で10回目を終えました。

講師の田中克己さんは、若い頃からの一代文化がレコードで、45回転のシングル盤こそレコード音楽であると言われています。

初回から参加されている方の感想をご紹介します。

谷口 敬子さん

公民館の行事表にレコード鑑賞会が載っていたので、早速行ってみることにしました。

すると…なんと!! 驚きました。

レコードを聴かせて頂いたうえに、その方は司会もされ、こだわりのアンプとスピーカー、レコード盤を沢山持って来られての鑑賞会でした。

それだけでも感謝の気持ちでいっぱいなのに、あの微妙な針を落とす時の感じ、そして懐かしい音色…名調子の司会のテンポに乗ってもう夢中、

すっかり心を奪われました。

帰りはうまでもなく、口笛でも吹きたくなくらい心も身体もルンルン。

それからはこの行事が待ち遠しく、友人を誘ってまた夢の中の独り世界を待つ自分がいます。



公民館活動は次のページ

特色のある公民館活動

● デジものホッと案内所(年間)

パソコン、タブレット、スマートフォンの困りごと相談

● おいじたく～老いを豊かに～ (8/31、10/30、11/30)

今までの人生を振り返り、これからの人生をどう過ごすか、必要な知識とポイントをアドバイスしていただきました。

[共催：鳥取西地域包括支援センター]



▲ おいじたく～老いを豊かに～



▲ とっとりまなびどころ『余部鉄橋とモトフサ現代美術館』



▲ とっとりまなびどころ『鳥取県立美術館とパビリオン“風の葉”』

地域の仲間づくり事業

● 富桑映画劇場(計21回) 毎月 第1、3木曜日

● ニュースポーツ体験(計9回) 毎月 第3金曜日 モルック、ボッチャ、パターゴルフ、室内ペタンク

● eスポーツ体験(計9回) 毎月 第3月曜日

● ココカラ体操(計6回) 7～12月 第1火曜日

● レコード鑑賞会(6/30、11/29)

● グラウンドゴルフ大会(6/10)

● 室内ペタンク大会(7/1)

● スマホ教室(1/22)

● モルック大会(1/27)



▲ eスポーツ体験



▲ レコード鑑賞会



▲ グラウンドゴルフ大会



▲ 室内ペタンク大会



▲ ニュースポーツ体験
(ボッチャ)



▲ ニュースポーツ体験
(パターゴルフ)



▲ スマホ教室



▲ モルック大会

子どもと大人のふれあい事業

- 子ども映画劇場(8/7、11/20)
- 富桑天文台(6/24)
- やまめのつかみ取り(7/29)
- バイオリンコンサート(10/20)
- キッズ ドローン トライアル KIDS DRONE TRIAL(11/2)



▲ やまめのつかみ取り



▲ バイオリンコンサート



▲ KIDS DRONE TRIAL

人権啓発推進事業

- 人権講演会(8/26)
演題『部落差別からの解放を求めて』
講師 奥田 均さん(近畿大学 名誉教授)
- 人権と福祉のまちづくり講演会(11/18)
演題『人生100歳時代～老いを元気で楽しく～』
講師 國松 善次さん
(元滋賀県知事、健康・生きがい開発財団 副理事長)
- 同和教育研修会(12/2)
演題『イノベーション～“部落差別があり
続ける社会”を変えるために～』
講師 中江 美紀さん
(鳥取県人権文化センター 専任研究員)
- まちづくり講座(2/10)
演題『放送こぼれ話』
講師 藤澤 武さん(元NHKアナウンサー)



▲ 人権と福祉のまちづくり講演会

趣味の教室・サークルの紹介

曜日	時間	教室・サークル名
月3回	16:00	謡曲・仕舞
月	第1・3 10:30	太極拳
	第2・4 13:30	
	毎週 13:00	安来節
火	月1回 13:30	秋桜句会
	月1回 18:30	ピラティス
	第1・3 12:00	ほっこりピアノ
水	第1・3 13:30	詩吟
	第2・4 13:30	フォークダンス
	毎週 9:00	囲碁
木	第1・3 10:00	華道池坊
	第2・4 10:30	オカリーナ
金	第1・3 10:00	ヨーガ
土	第3 10:00	富桑の歴史と文化を語る会

随時各教室の様子を見学・体験できます。
お問合せはTel27-4585、公民館まで。

INFORMATION

公民館のご利用について

- 事務室
開室時間** 平日 8:30～17:00
- 事務室
閉室日** 土・日曜日・祝日
- 休館日** 12月29日～1月3日

- 事務室開室時間以外にも、館内施設をご利用いただけます。その際は、鍵を受け取りにおいでください。
- 使用後は日誌の記入、後片付け、清掃、消灯、戸締まりをきちんと行ってください。(ごみの分別にご協力をお願いします。)
- 公民館利用者以外の無断駐車は固くお断りします。



公民館の最新情報は
こちらをチェック!

FUSO
寄稿

つ・な・が・る・ふ・そ・う

富桑小学校
校長 西村 教子

現代は「予測不能の時代」とよく言われます。そんな時代を生きていく子どもたちに必要なのは、ずばり、様々な人とつながっていく力ではないでしょうか。

富桑小学校では、今年度「学級会」に取り組んでいます。学級会は、子どもたち同士のつながりが薄いと成り立ちません。つながることは実はとても面倒くさいことです。でも、その面倒くささを感じながらも何とか合意できたときの充実感、達成感、安堵感は、その次の活動への自主性や主体性を育むことにつながります。

地域の皆様には、年間を通して常に見守り、声をかけ子どもたちとつながってくださり、本当にありがとうございます。これからも「学校、家庭、地域がつながるふそう」として、どうぞよろしく願いいたします。

FUSO
寄稿

人とふれ合うことの大切さ

富桑保育園
園長 徳安 友代

コロナ禍を経て、待ち望んでいた日常が戻ってきました。給食を味わいながら楽しくおしゃべりし、顔を寄せ合って遊び、大好きな友だちと息をはずまして体を動かす日々が戻りました。マスクをはずした顔には笑顔があふれ、人と人が触れ合う大切さを改めて感じています。

夕涼み会では富桑音頭を踊り、小学校のお兄さんやお姉さんたちと一緒に楽しいひと時を過ごしました。運動会も全年齢が一緒に参加し、集えることの有難さを噛みしめました。

感染症対策に工夫しながらも、体を思い切り動かす機会の減少を感じ、『豊かなこころと元気な体を育む』に向かって年齢に合った体を動かす遊びを取り入れています。

今年は様々な感染症に対応しましたが、食や生

活習慣、運動などから体づくりを進め、これからも健康な生活を大切にしていきます。



編集後記

2023年5月、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に指定され、数年にわたり中止や規模縮小が続いた地区行事が元の形にもどりました。

今年度の「富桑まちづくりだより」の表紙写真には「富桑地区大文化祭」の様子を使用、特に2日目は天候にも恵まれ、多くの方が交流

テント村で楽しむ姿が印象的で「やっぱりこうでなくっちゃ!」と感慨深いものでした。長らく中断されたイベントの再開が地域全体で待ち望まれていたことがうかがえます。

元にもどったとはいえ、いまの「日常」は以前とは異なりつつも、地域の絆が再び育まれ、笑顔と共に新しい「日常」が形成されつつあると感じた1年となりました。

奥田 一仁



富桑地区Webサイト